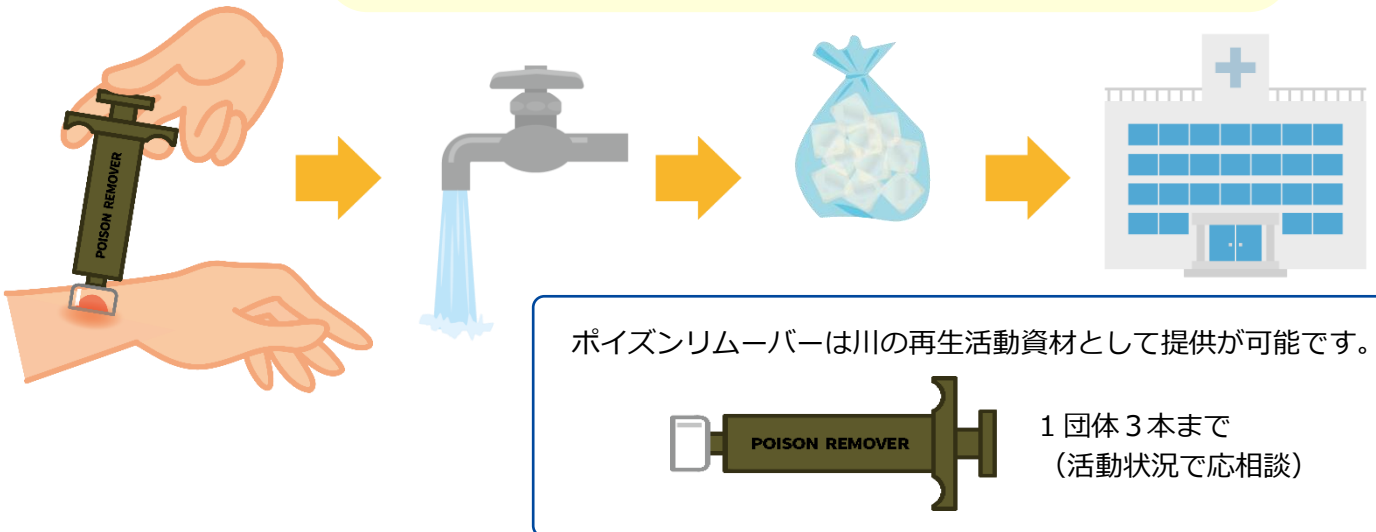


ハチの毒には、人の身体に痛みを引き起こす、さまざまな成分があります。さらにコワイのは「ハチ毒アレルギー（＝アナフィラキシーショック）」です。1度ハチに刺された後、ハチ毒に対する抗体が作られます。二度目に刺された時に、抗体がアレルギー反応を起こすのです。一般的にスズメバチに刺される危険な時期は、**7月～10月**と言われており、野外での活動には注意が必要です。



- ① 刺された人はなるべく**動かない**。※毒のまわりを防ぐためです。
- ② **ポイズンリムーバー**で毒を吸い出す。 ※10分程度、肌から離さず吸った状態のままにしておくこと
- ③ 流水で洗い流す
- ④ 冷やす
- ⑤ 早めに病院へ

**ポイズンリムーバーは医師の手当を受けるまでの
応急処置として使う器具です。必ず受診しましょう！**



◆ 蜂刺されを防止しよう

- ① 蜂に刺された時の応急処置を事前に周知すること。
- ② 作業前に作業場所の蜂の生息状況を確認すること。
- ③ 巣が確認された場合は振動等の刺激を与えないようにし、除去等を行うまでは巣の近くでの作業は避けること。
- ④ 作業中に蜂が近づいてきた場合には、速やかに遠ざかること。
- ⑤ 蜂を刺激しない服装等で作業すること。(スズメバチの場合、黒地の着衣等や香水、化粧品等で匂いのするものも避ける。)

蜂に最も刺され易いのは、腕や手で、次に顔、頭部等で、いずれも身体の露出部分が真先に狙われます。

川で活動する際は、蜂にお気をつけください！



環境部 水環境課 浄化槽・豊かな川づくり担当

郵便番号 330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目 15 番 1 号 第三庁舎 1 階

電話：048-830-3088 ファックス：048-830-4773

